

<b>会議名 (委員会・部会)</b> <b>教育・研修委員会</b> <b>第 4 回 社員教育改善部会</b>		<b>開催日時</b> <b>開催場所</b>	平成 28 年 2 月 16 日 (火) 16:00～18:15 東印工組 4 階会議室
<b>出席者</b> (敬称略) (順不同)	土屋勝則委員長、小宮山貴史部会長、山田智昭、安田克実、伊東二郎、都築保志、作道昌弘の各委員 〈事務局〉青木(担当)		
<b>議題.1</b> ➤  <b>経過</b> ➤	<b>平成 28 年度印刷系在職者向け技能講習会の内容について (都立中央・城北職業能力開発センターとの意見交換)</b> 同センターから能力開発係 島根和彦氏を招いて意見交換を行った。最初に島根氏から 27 年度に同センターで開催した印刷系向上訓練講座の実績について説明があった。その後、28 年度に開催予定の講座案が提示され、委員に対して経営者の立場からどのような内容の講座の開催を望んでいるかの聞き取りを行った。 委員から出された主な意見は下記のとおりで、島根氏からは、次年度の講座企画の際に、可能な範囲で反映させたい旨回答があった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度は組合として技能検定「製版職種(DTP 作業)」を実施する予定なので、それに関連した講座を企画してほしい</li> <li>・製造業の工業会計講座を企画してほしい</li> <li>・組合の社員教育プログラムの一環として企画した「デジタル印刷機講習(仮)」について、将来的なニーズによっては初級編、中級編と分けて開催してはどうか。また、デジタル印刷機のトラブル対応の講座も企画してほしい。</li> </ul>		
<b>議題.2</b> ➤  <b>結果</b> ➤	<b>次年度への申し送り事項</b> 講座の開催や技能検定への協力など、当部会の担当事業は全て次年度へつながるものなので、引き続き推進してほしい旨、申し送ることとした。  <b>報告事項</b> <b>1. 全印工連制度教育事業検討部会の経過(小宮山部会長)</b> 「印刷営業講座/印刷営業技能審査認定試験」の内容見直しについての指針が次のとおり決定し、今後はテキストの作成や講義の進め方など具体的な内容の検討に入る。なお、新しい内容での講座開催および試験実施は平成 29 年度からとすることとした。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座は、従来の見積もり作業中心の内容から、顧客とのコミュニケーションやプレゼンテーション、マーケティングに重点を置き営業現場の実情に沿った内容とする。</li> <li>・試験問題は、講座では詳しく触れない部分からも出題することで難易度を上げる。このため本講座の在り方は受験対策講座とはしない。</li> </ul> <b>2. 全印工連 DTP 技能検定検討部会の経過(土屋委員長)</b> 全印工連が各県工組に対して行った、DTP 技能検定の実施の意向確認ア		

ンケート結果によると、東印工組を含めた 14 工組が開催の意向を示しており、この他に 12 工組が前向きに検討するとの回答だった。

次年度は検定実施の周知に力を入れたいが、検定内容が詳しく開示されていない現状のままでは限定的な PR になりそうである。引き続き、検定を所管している中央職業能力開発協会と検討を重ね、できる限り多くの情報を提供したい。

**3. 印刷生産技術講座(1/13、20、27)の開催結果**

受講者数：14 名 全員修了

**4. 印刷生産士認定試験(2/17)の実施結果**

受験者数：13 名 合否発表は 3 月上旬を予定

以上